



医師

## 今後の産婦人科について

産婦人科部長 藤原 多子

昨年12月末日に加藤千豊副院長兼産婦人科部長が退職され、本年1月より産婦人科の診療は私、藤掛佳代先生、中村謙一先生の常勤医3人体制でのスタートとなりました。現状は名古屋大学より代務医師を週に2回派遣して頂き、これまでの診療体制に近い状況を維持するように努力しております。今年3月には名古屋大学付属病院より1人医師が異動してくる予定となっています。これまでの5人体制から4人体制となりますが、可能な限りこれまで同様に周産期領域・婦人科領域・不妊症を含む産婦人科全般にわたり高度な診療を提供する事ができるように努めていくつもりです。しかし、医療を提供する際の安全面を重視するために、しばらくは分娩の取り扱い件数を制限させて頂いております。さらに、母体・新生児の管理におきましてはローリスク妊娠を中心に診療しております。ハイリスク妊娠に関しては、NICU(新生児集中治療室)やMFICU(母体胎児集中治療室)での管理が必

要となるような場合には適切な時期に総合周産期母子センターに母体搬送・紹介させて頂いております。これまで当院で出産された事のある方でも上記理由により分娩をお受けする事ができない場合もありますので、ご迷惑をおかけ致しますがご了承下さい。妊婦さんが希望をもって出産し、生まれてきた赤ちゃんが健やかに成長できるように、より一層充実した安全な周産期医療を提供できるようにスタッフ一同でがんばってまいります。私自身としては当院に赴任する前はサブスペシャリティーとして婦人科悪性腫瘍の臨床や研究に従事しておりましたので、今後も婦人科悪性腫瘍に対しては手術や化学療法などを組み合わせ、一人一人の患者さんにベストと思われる治療を提供できるよう診療致します。また、地域がん診療連携拠点病院を目指す当院の体制に少しでも協力していけたらと思っております。より良い診療を目指してまいりますので、よろしくお願い致します。

★中部ろうさい病院のホームページで、〈病院の情報〉〈フィリア・レター〉〈ろうさい病院つうしん〉がご覧いただけます。携帯電話からもアクセスできます。どうぞ、ご利用ください。